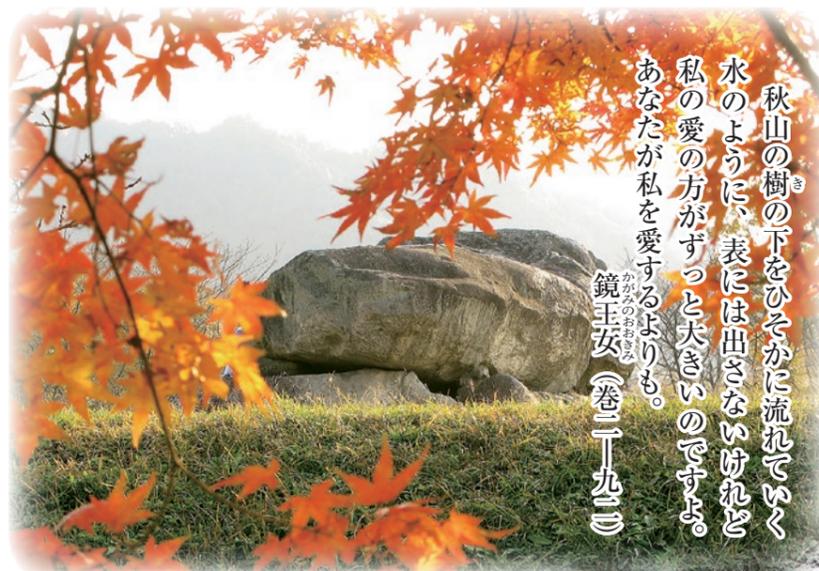


飛鳥

古きもの
明日のもの

2018年
秋から
冬へ
No. 7



彩り添えて（石舞台）

鏡王女（巻二一九二）

秋山の樹の下をひそかに流れていく水のように、表には出さなければ私の愛の方がずっと大きいのですよ。あなたが私を愛するよりも。

秋山の 木の下隠り 逝く水の
われこそまさかめ み思いよりは
妹が家も 継ぎて見ましを 大和なる
大島の嶺に 家もあらましを

愛しいあなたの家にもいつも行きたいものだ。あなたの家が*大和の大島の嶺にあつたら、毎日でも逢えるのに。

天智天皇（巻二一九二）



古想う（亀石）

写真/加藤秀行

天智天皇と鏡王女の贈答歌です。「愛しているよ」とは言わないのに、たまの逢瀬を、永遠に続けばよいのに…と願う天皇。それに対して鏡王女の返歌は実に見事です。「愛」という抽象的なものを、秋雨や台風で豊かになった水の量で表現し、「あなたが私を思うよりも、私の愛の方が何倍も大きいのですよ」と歌っています。その比喩法は万葉人ならではの「愛してる」の表現の仕方や、自然と共存している生き方に感動します。

※大和大島…今でも場所は不明です。



3月	2月	1月	10月	9月						
下旬	3	20	20 21	30	11月 30日	22 23	22	15	10月 31日	
楽	楽	楽	楽	学	学	楽	楽	楽	学	
石舞台古墳桜 ライトアップ	おんだ祭り「飛鳥坐神社」	風揚げ大会 (事前申込必要)	古都飛鳥文化祭	飛鳥学冠位叙任試験 (事前申込必要)	高松塚壁画館 秋季企画展 「古代寺院跡出土の壁画 —古墳壁画成立と寺院壁画 とのかわりを考える—」	里山あそび広場 国営飛 鳥歴史公園石舞台地区	彼岸花祭り	飛鳥光の回廊	飛鳥周遊クイズラリー (事前申込必要)	明日香路を写そう写真 コンクール作品展 「国営飛鳥歴史公園館」

平成30年（9月～3月）
イベントスケジュール

右記イベントは7月1日現在の情報です。イベントに参加される際は必ず事前にご確認ください。

お問合せ先
●飛鳥京観光協会
●飛鳥管理センター
☎0744(54)2362
☎0744(54)2441

明日香の明日香



越智岡と「アサガオ」

夏を象徴する花の一つに「アサガオ」があります。「アサガオ」は奈良時代に中国や朝鮮半島から伝わったとされており、当時は薬として用いられていました。現在のように栽培されるようになったのは江戸時代からで、庶民の間に急速に広まっていきました。時を同じくして、「越智岡」にある小さな塚が「アサガオ」塚と呼ばれるようになります。小字名から「御前塚」とも呼ばれ、「御前」は高貴な女性の尊称であったことから、被葬者が女性ではないかとされてきました。この華麗な「アサガオ」と被葬者が女性とされる「塚」こそ、「明日香村大字越（越智II小市）にある「牽牛子塚古墳」です。牽牛子塚古墳は八角墳であることが判明しており「アサガオ」の名にふさわしい壮麗な姿であったと考えられます。被葬者は斉明天皇と娘の間人皇女とされ、隣接する越塚御門古墳は孫の大田皇女の墓とされています。飛鳥地域に最初に造営された八角墳は「アサガオ」塚の名で親しまれ、飛鳥時代を演出した女帝にふさわしい可憐な姿を彷彿とすることができます。



整備完成イメージ図

明日香村では現在、牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の復元整備事業を進めています。飛鳥時代の築造当時の姿が一四〇〇年の時を経て、現代に蘇ります。
(明日香村文化財課 西光慎治)



画廊飛鳥

アートに触れて心満たされる
現代美術の発信ギャラリー



飛鳥駅から徒歩2分の所にある「画廊飛鳥」
築一六〇年の格子戸をあけると、夏でもひんやりとした土間が広がり、黒々とした梁と、白い土壁の空間が迎えてくれる。
オーナーの喜多龍之助氏の父は書家。母も芸術一家の血筋だ。
幼い頃から吉野の家で父を慕う芸術家たちに囲まれて育った。週末には、どんちゃん騒ぎ。そんな浮世離れした環境の中、サラリーマン時代を過ごす41歳で脱サラし画廊をオープン。両親の介護も転機となった。
「芸術家はある意味、生き方が不器用やと思います。劣は多いが実入りは少ない。これ程、割に合わない商売はないです。」と、喜多氏。

だから、頑張る人たちの物づくりの発表の場としてバックアップしていきたいと、奈良では数少ない作品だけの純粋な画廊を作った。
店内では、平面作品から立体造形まで様々な作品を飾り、吹き抜けの土間を利用した演劇やコンサートなどのイベントも魅力の一つだ。
オープンして13年目の今秋、集大成ともいえる「トシコ ムトー展」が開催される。(下記詳しく)
人には昔から芸術に魅かれる遺伝子があると思う。
明日香に來たら是非「画廊飛鳥」へ：お待ちしております。



大地の恵み「さつま芋掘り」と夜の「いちご狩り」にもチャレンジ

栗原「いもほりオーナー」



「もしかして、日本一お得な「いもほり農園」かも!!」と噂高き栗原の「いもほりオーナー」が今年19年目を迎える。
地元の幼なじみ4人が立ち上げたのでチームワークも抜群だ。品種には試行錯誤を重ね、今は「紅はるか」(加熱すると糖度は40度以上に)・「シルクスイーツ」(絹のような滑らかな食感と濃厚な甘味)など、スーパーでも手に入りにくい珍しい芋が中心なので、人気があるのも頷ける。
オーナーの1/3はリピーター。毎年施設や保育園に掘った芋を届ける人や、子供や孫が土に触れ、収穫する喜びを体感してほしいと願う。

うオーナーも多い。収穫時には掘りたての芋の焼き芋のふるまひもあり大人気だ。
又、今年から「ストロベリーナイト」を新しくスタートさせた。日中の暑さを凌ぎ、涼しい夜に「いちご狩り」をしてみようという試みだ。代表の尾上弘氏いわく、「ハウスでは夜ならではのイルミネーションも楽しめ、5月のプレオープンには満員御礼でした」と笑顔で感謝。自由な発想は想像以上の手ごたえを生み出した。
美容にも健康にも最高の食材、さつま芋といちごを是非、堪能してみよう。
お問合せ
(二財) 明日香村地域振興公社
0744(54)9200
Email: info@asukabito.jp



夜の「いちご狩り」

LINE@ Instagram #farm_luby #オノウエ

ストロベリーナイトアクセスはこちら!

5月	さつま芋も植えつけ
10月	さつま芋も収穫
※焼き芋のふるまひあり	
会費	コース別
10kg	10,000円/口
20kg	5,000円/口
40kg	3,000円/口



私と飛鳥



私が飛鳥に興味を持ったのは、20代の頃に「日出処の天子」(山岸涼子著、全11巻、白泉社)を読んだ事がきっかけでした。主人公の厩戸王子にこれが、ゆかりの地である橋寺、飛鳥寺、豊浦寺跡などを訪れコミックの中の厩戸王子に思いを馳せていました。
その後結婚を機に明日香村の隣の橿原市で暮らすようになり飛鳥がもつと身近なものになりました。日々変化するように風景に魅せられ写真を撮るようになりブログで紹介するようにな

りました。美しい風景を紹介することで飛鳥の魅力を伝えたいと考えていました。飛鳥応援大使になったのもそういう気持ちからです。
日々変化する美しい風景に癒されていた私ですが、「天上の虹」(里中満智子著、全23巻、講談社)を読み、飛鳥時代の歴史に深い関心を持つようになったのです。もっと飛鳥時代のことを知りたいと思うようになりました。最近では飛鳥を知るには「古事記」からと思い何冊か読んだところでした。
また、考古学にも興味をわいてきました。明日香村に來ると発掘現場を目にするのも多いと思います。現地説明会があると聞くことも限りに出かけています。今現在発掘調査中の飛鳥京

跡苑池遺構は斉明天皇期に造営され天武期に改修、持統天皇以降の時代にまで引き継がれた苑池です。リアルに天武・持統天皇が歩いた地面が存在しているのです。
コミックから始まった飛鳥への興味は古代史、考古学へと広がっていききました。明日香村には今見える美しい風景だけでなくその地面の下にはリアルな飛鳥時代が存在しています。私にとっての飛鳥はどこまでも興味の尽きることのない、夢の詰まった素晴らしい場所です。
第二期飛鳥応援大使 宮崎愛子



アトリエ 夢灯り



~とっておきの隠れ家で、ゆるゆるとした時間を~
一步足を踏み入ると、幻想的な灯りと無国籍な空間が迎えてくれる「アトリエ夢灯り」
「明日香巡りをして、ほっと寛げるお店を…」と夫婦で始めたお店だったが、オープンして2年目に10年間喫茶店を営んできた。しかし今年の4月に一念発起。明日香に縁(ゆかり)のシェフを迎えてランチを始めることに。「食を提供するだけでなく、人と人、地域を繋げる会話を大切にしたいんです。」と、話す。

なので、ゆっくりと過ごしてもらうため、一日に作るランチは15食~20食に限る。
農家さんが自ら食す無農薬や有機の米・野菜を契約し、山菜や摘菜はシェフと山に採りに行く。味噌やぼん酢、ドレッシングなども全て手作りにこだわった、美容と健康を考えた野菜たっぷりランチが好評だ。喫茶では季節の果物をふんだんに使った手作りケーキや飲み物もボリュームがあると男性にも大人気。又、店内に飾られる古材利用の額や小物、手作りアクセサリを眺めるのも来店者の楽しみのひとつだ。



店内には手作り作品がいっぱい。販売も可。



夢灯りのランチ ¥1,100(税込)
食後のドリンク&手作りケーキもセットになって、盛りだくさん。この日のメインは鶏ささみのゴマまぶし。メニューは週替わり。

- 〈メニュー〉
- ・手作りケーキセット ¥600
- ・聖徳太子のおさがり餅 ぜんざいセット ¥600 (単品)
- ・珈琲、紅茶 等 ¥350

◆電話：0744-54-5432 ◆住所：明日香村島庄42-7
◆時間：11:00~17:00 ◆駐車場：あり
◆休 日：月曜~木曜 (営業は3月~5月、9月~11月の金曜・土曜・日曜・祝祭日)
◆HP・facebook 「アトリエ夢灯り」

Restaurant introduction



イベント情報 「あなたの「飛鳥学」を腕試し」

飛鳥学冠位叙任試験「入門編」
飛鳥をフィールドに、ウォークを楽しみながら飛鳥に纏わるクイズ「飛鳥学」に挑戦してみませんか?成績によって聖徳太子の「冠位十二階」になみな冠位と官職が与えられます。今年も小・中学生対象の「小舎人」検定も同時開催。成績優秀者は12月2日(日)に飛鳥坐神社で執り行う「叙任式」にお招きいたします。高得点者は次回、中級編にチャレンジ出来ます。あなた

の「飛鳥学」腕試ししてみませんか?
開催日：9月30日(日)
試験・飛鳥駅をスタート。飛鳥を周遊し、6ヶ所のポイントで4択式のクイズにチャレンジ。
受検料：1,000円
小舎人検定 500円
申込方法：ハガキ、Eメール又はFAXに住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別を明記して、左記までお申込みください。折り返し、当方より受検票を返送いたします。
お申込先
〒634-0138
奈良県高市郡明日香村越13-1
(公財) 古都飛鳥保存財団 冠位叙任試験係
FAX 0744(54)3638
E-mail: event@asukabito.jp

編集後記

飛鳥駅周辺が道の駅「飛鳥」として国土交通省から登録されました。駐車場を広げ、トイレが新設されたのです。鉄道のターミナルと一体化された道の駅は全国でも珍しいと思えます。確かに便利になったのですが、「飛鳥駅前サポーター」の一員として苦言を言わせてもらおうと、駅前に花を植えたり、大根を植えて漬物にしたり、という活動をしてきましたが、大根を干す場所がなくなって、残念な思いです。花壇も縮小されました。でも、整備が村の発展につながるのなら、思考をポジティブに方向転換しなければいけないですね。
秋の明日香はイベントが目白押し。特に、この時期は夜がおススメなんです。是非、お月さまと共に深まりいきたいものです。



新子 信子

